



ご卒業おめでとうございます

本日、第79回卒業証書授与式が行われ、19名の卒業生に卒業証書を手渡しました。本当に個性豊かな仲間が集まり、学校全体を明るく、元気にしてくれました。生徒も職員も毎日楽しく学校生活を送ることができたのは、3年生の力が大きいと思います。また、保護者や地域の皆様も元気をもらったことと思います。3年生の皆さん、ありがとう。

今日で南浜中学校を卒業となりますが、皆さんがこの3年間で学んだ「深く考え 心豊かに実践する力」を発揮して、これからの社会でよりよく生きぬく人生が送れることを教職員一同、心より願っています。

校長式辞 (一部抜粋・削除)

素晴らしい成果を残して、さらに前向きに進もうとしている皆さんに、期待を込めてはなむけの言葉を贈ります。

今年6月にサッカーのワールドカップが開催されますが、前回大会のカタール大会の初戦で、日本代表は過去4度の優勝を誇り、一度も勝ったことがないドイツ代表と対戦しました。前半を0対1と負けている状況で折り返すと、後半を迎える前の円陣で、当時主将だった吉田麻也選手は、次のように語ります。「歴史を変えてきた人は、絶対に勇気をもって、前進した人だけだから。今日、俺たちが歴史を変えよう」。この言葉に勇気づけられた日本代表は、この後、逆転劇を見せ、勝利を収め、日本中、世界中が熱狂したことは、多くの皆さんの記憶にもまだ残っていることと思います。

これから皆さんが歩いていく社会は、急速に変化し、予測困難な複雑な社会です。地元の南浜から飛び出し、もっと広い世界に向かっていくとき、ともすると不安から自分への自信を失いがちになります。そんな時、この言葉を思い出してください。そして、勇気をもってチャレンジし、前進することで、これからの社会をよりよく生き抜いてほしいと思います。



送辞 (2年1組 小柳 彩葉)

厳しい冬の寒さも和らぎ、柔らかな日差しに春の訪れを感じる喜びがあります。

今日、3年生の皆さんが南浜中学校を卒業されたことを、在校生を代表して心よりお祝い申し上げます。ご卒業、おめでとうございます。

先輩方は、日々の学校生活で私たち在校生の目標となる素晴らしい存在でした。

南浜中学校の大きな行事である海鷹祭では、「光真輪凜」というスローガンのもとに、全力を尽くし合う熱い戦いが繰り広げられました。「光真輪凜」には「ひまわりのように太陽に向かって明るい方へ進み、仲間との絆を大切に努力し、凜とした心を持って体育祭に臨んでほしい。」という思いが、堂々と咲き誇るひまわりの花に表現されていました。真夏の空の下で、先輩方は明るく輝くひまわりのように私たちの道しるべになってくださいました。海鷹祭実施の何ヶ月も前から何度も話し合い練り上げられたダンスの振り付けは、先輩方らしい元気とアイディアにあふれたものでした。そして、二軍に分かれての練習が始まると、先輩方の存在は圧倒的でした。

応援やダンスを少しでもいいものに仕上げようという向上心、1、2年生の良さを引き出そうとする気配りと優しさ、本番までにすべきことを見通し、計画を立てる力など、素晴らしい統率力で私たちを導いてくださいました。当日の大成功は、先輩方の努力のお陰だと思います。

この他にも、生徒会活動でも様々な取組がありました。

生徒会総務の皆さんは、生徒朝会や生徒総会など、全校生徒に関わる大きな活動をいつもスムーズに進めてくださいました。それは、事前に入念な打ち合わせをして、メンバー全員が同じ目標に向かっていただからだと思います。仕事を決して人任せにしないだけでなく、全体を把握して、自分の分担以外の細かいところまで気を配って進めているからこそ、スムーズな運営ができたのだと思います。また、朝のあいさつ運動や、校則や生徒会選挙について楽しく覚えられるようにクイズ形式にしてくださったり、健康についてプレゼンテーションを作ってくださったりと、先輩方の活動はユニークで親しみやすいものばかりでした。

この他にも、駅伝大会では、大きな応援の声と見事な走りで、私たちを力強く励ましてくださいました。また、松風祭での最上級生らしい堂々とした態度と美しいハーモニーは今も耳に残っています。

こうして振り返ると、先輩方は生徒会活動を通して、全校の生徒同士の仲を深め、学校生活を豊かにしてくださっていたのだと思います。この1年間の委員会活動やイベント、学校行事で新しいことを実践するために、じっくりと考え、私たちをいつも導いてくださいました。そんな先輩方の背中を見てきて、自分自身のことを振り返ると、改めて尊敬の思いが溢れてきます。

本当にありがとうございました。

これからは、3年生の皆さんへの感謝と、尊敬の念を胸に、この南浜中学校をさらに明るく元気のある学校にするために、在校生で力を合わせていきたいと思います。

私たち在校生はこれからも精一杯努力し、先輩方に教えていただいたことをさらに開花させていきたいと思います。

今まで本当にありがとうございました。

答辞 (3年1組 引木 すみれ)

頬をなでる、冷たい風にも暖かな春の日差しを感じる今日この佳き日に、私たち卒業生のためにこのような立派な卒業式を挙げていただき、卒業生を代表して感謝申し上げます。

今思い返してみると、南浜中学校で過ごした3年間はあっという間でした。

いつもの仲間とたわいのないおしゃべりをした給食の時間、修学旅行では新幹線の中やホテルの部屋でワイワイ騒いだことなど、楽しく過ごした中学校生活とも、今日でお別れです。

この三年間振り返ると楽しい思い出がたくさんありますが、いつでも前向きに過ごせていたわけではありません。思うようにいかず、試行錯誤した時間もありました。

その一つが部活動と学習の両立です。私は陸上部に所属していました。大会で上位の成績を残せたわけではありませんでしたが、私は自分の「軸」を持って日々過ごしてきました。それは、毎日の部活動での練習に真剣に取り組み、同時に学生として学習からも決して逃げないということです。部活動の練習で疲れ果てて、机に向かうのが辛い日もありました。両立の難しさに悩み、立ち止まりそうになったこともあります。けれど、その苦しさの中で学んだことがあります。それは「諦めない」気持ちを持ち続けることです。

「今ここで努力することが、未来の自分につながる」、「この努力が絶対にどこかで生きる」と思って、何事にも取り組んでいました。この気持ちは、真剣に部活動に取り組み学習から逃げなかったからこそ、確信を持てた私の「軸」だと思います。

そしてもう一つは、海鷹祭のリーダー活動です。特に今年度の海鷹祭は最後だということもあり力が入りました。とびきり楽しい思い出である反面、当日に至るまでにたくさんの苦悩がありました。まず、リーダーたちのまとまりがなかったことが私にとっての不安や焦りになりました。私は青軍の副応援団長として団長をサポートすることや軍全体をまとめることが自分の責務だと感じていました。そのため、今の状態でいいのだろうか、これからどのような計画を立てればいいのかなど多くの不安に襲われました。

ですが、毎日の練習の積み重ねの中で、だんだんと声が大きくなり、ダンスも仕上がってきて軍の団結力が強まっていきました。リーダーの必死な気持ちや軍のみんなの全力が伝わってきて、「私は1人ではない。」と感じられるようになったのです。リーダーとして、また、南中生の1人として、軍全体の絆が強くなっていくことに達成感が持てるようになりました。

赤軍との切磋琢磨の末、私たちは応援優勝を勝ちとることができましたが、今考えれば、応援優勝できたのは悩んだ時も諦めずに、粘り強く問題と向き合った過程があったからこそだと思います。何事においても諦めずに前へ進むことは簡単ではありませんが、それを乗り越えれば自分の強みや自信に変えることができます。南中で学んだ「未来の自分のために踏ん張る力」と「仲間と団結することの大切さ」は、これから生きていく上での大事な財産です。これからもこの「諦めない」気持ちを忘れずに高校生活を送っていきたいです。

そして、この三年間、支えてくださった多くの方々のおかげで、私たちは成長することができました。

まずは先生方。どんな時も温かく見守り、ときには厳しくときには優しく指導していただき、悩んだときには相談に乗ってくださいました。先生方の励ましの言葉があったからこそ、ここまで頑張ることができました。

そして家族。お弁当を作ってくれたり送迎をしてくれたり、見えないところでたくさん支えてくれたことに心から感謝しています。「がんばってね」「大丈夫だよ」という言葉が私たちの大きな力になりました。

在校生の皆さん。私たちについてきてくれ、支えてくれてありがとう。これからは皆さんが南浜中学校を引っ張っていく番です。私たちは皆さんの活躍を楽しみにしています。

そして、三年生のみんな。みんなと賑やかに過ごした毎日は本当に楽しかったです。これからもお互いに頑張って、自分の道を切り開いていきましょう。

最後に南浜中学校のますますのご発展を心より祈念して、答辞と致します。

同窓会入会式

2月27日（金）に同窓会入会式が行われ、副会長吉田 馨 様に来校いただきました。吉田様からは、南浜地区の歴史とともに地域を愛する思いと心温まる激励の言葉をいただきました。生徒代表誓いの言葉では、曾我さんから3年間の教育活動において、支援と協力をいただいた活動の思い出と感謝の気持ちが語られました。



誓いの言葉（3年1組 曾我 優衣）

本日、私たち十九名は、南浜中学校第七十九期卒業生として、伝統ある南浜中学校同窓会への入会を許可されました。吉田副会長様、どうぞよろしくをお願いいたします。

私たちは、南浜中学校で、たくさんの同窓・地域の皆様からご支援や激励を受け、充実した三年間を送ることができました。

1年生のときに行った農業体験。同窓の方より畑を貸していただき、サツマイモの栽培を体験させていただきました。農業の楽しみや奥深さを知りました。



2年生のときに行った地域の方へのインタビュー活動。地域の方から温かく受け入れていただき、仕事をする上での心構えや大変さを学び、南浜地域について真剣に考えるようになりました。

3年生のときの模擬面接練習。同窓の皆様にも面接官になっていただき、高校入試の面接練習をしました。おかげで、本番では落ち着いて臨むことができました。

毎年行われた体育祭での給水ボランティア、文化祭の学習発表に対するご指導など、普段できない貴重な学習をすることができました。

間もなく、私たちは、慣れ親しんだ校舎を後にし、仲間と別れ、それぞれの進路に進んでいきます。この先、どんな困難が待っているか分かりません。悩むこともあるでしょう。そんなとき、南浜中学校で、先輩の皆様から教えていただいたこと、温かい言葉をかけていただいたことを思い出し、精一杯生きていきます。そしていつの日か、ふるさと南浜にご恩返しができるようにならばと思います。同窓の諸先輩の皆様方、ご指導よろしくお願いします。

最後に、私たちの母校南浜中学校の発展のために協力していくことを誓い、第七十九期卒業生代表の挨拶とします。